観月祭

月見の宴は、中国でも日本でも古くから行われている。住吉大社の観月祭は秋、通常は9月中旬から下旬に満月の下で行われる。輝く月以外に人々を引き付けるのは、詩である。祭りは、日本の詩歌と、神社との歴史的なつながりを祝うものである。

住吉大社の観月祭では、有名なアーチ型の橋である反橋の上から、神職が伝統的な詩を読み上げる。作品は、俳句や五・七・五・七・七の音節のパターンに従う短歌と呼ばれる長い詩が中心である。